

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際連合開発計画 (UNDP) 拠出金 (TICADプロセス推進支援) (任意拠出金)		担当部署	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度	平成8年度開始。平成23年度より「アジア・アフリカ協力基金拠出金」(AA基金) から「国際連合開発計画拠出金 (TICADプロセス推進支援)」に変更。		担当課室	アフリカ第2課		課長 麻妻 伸一		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	第20回国際連合総会決議2029				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年度までは、我が国の対アフリカ外交資産であるアフリカ開発会議(TICAD)プロセスが開始当初から重視してきたアジア・アフリカ協力の具体的な推進を目指してきた。TICADプロセスの進展を受け、平成23年度からは「TICADプロセス推進支援拠出金」として、TICADプロセスをマルチの取組として促進するとともに、TICAD行動計画に従った具体的な取組を推進し、TICADプロセスの効果的・効率的な運営、およびアフリカ地域機関の能力強化と我が国との関係強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年度までのAA基金では、主にアジア・アフリカ協力の推進を目的とした各種プロジェクトの実施を通じ、TICADプロセスの推進を図ってきた。今後は、アフリカ諸国及びアフリカ地域機関を対象に、TICAD共催者であるUNDPのノウハウやネットワークを活用し、TICADⅣの重点項目の1つである「成長の加速化」にプライオリティを置きつつ、二国間での協力を進めにくい貿易・投資・観光等の分野に焦点を絞ったプロジェクトを実施。また、同じくTICADプロセスが重視するアフリカ地域機関との協力強化やそのために必要な能力強化に資する案件を実施する。また、国際社会、特にアジア・アフリカ諸国において、TICADの成果をより可視的なものとするため、2013年のTICADⅤをはじめとするTICAD関連会合の準備・フォローアップ推進のための各種事業やTICADプロセスの成果に関する広報活動等を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	116	92	76	69	72	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計		116	92	76	69	72	
	執行額		116	92	76			
執行率 (%)		100	100	100				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	目標: 貿易・投資分野を中心とするTICADプロセスの推進 実績: 日本の対アフリカ直接投資残高(5か年平均)(目標値は2012年末時点で34億ドル) (【参考指標】)		成果実績	億米ドル	42	52	未集計	34
			達成度	%	124	153	未集計	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	TICADプロセスの推進に資する事業を各年度につき1件以上実施する。		活動実績 (当初見込み)	件	2 (1件以上)	2 (1件以上)	3 (1件以上)	— (1件以上)
単位当たり コスト	55 (百万円/事業)		算出根拠	21年度 115,744千円 22年度 92,292千円 23年度 170,316千円 計 378,352千円 ÷ 7事業				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	事業費	69	72					
	計	69	72					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	アフリカ開発は主要国である我が国にとっての責務であり、我が国はTICADを通じて国際的な議論を主導。本基金は右プロセスをUNDPの協力を得て推進する上で我が国政府が実施すべき重要な事業。昨年度の執行率が低い理由は、来年のTICAD V 関連のプロジェクトへの支出を予定しているため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	資金の運用にあたってはUNDPの内規に則り厳正な管理がなされている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	アフリカの全ての国に事務所を有しており、国際社会でアフリカ開発に関する主要な役割を担うUNDPと協力する意義は大きい。また、本件拠出金を活用して同機関が作成する広報資料等の成果物は広く活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度から、TICADプロセスのより具体的な推進に資する事業内容に対する拠出とすることを目的として、前年度までの「アジア・アフリカ協力基金拠出金」を改め、「TICADプロセス推進支援」として拠出することになった。これにより、本基金の適正な資金管理が強化され、TICADプロセス本体の進展に合わせて、同プロセスの具体的な推進を目指す事業内容に対し効果的・効率的な拠出がなされるようになった。また、平成22年度をもってそれまで本拠出金にて雇用していたUNDP・TICAD部3名のポストを廃止し、実施体制の抜本的な見直しを行った。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り		－	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
「アジア・アフリカ協力基金拠出金」が事業仕分け第1弾の対象となり(事業番豪2-50-(3))、国際機関等への任意拠出金は全体として「見直しを行う」との評価を受けた。 1 我が国は、93年に「第一回アフリカ開発会議」(TICAD I)を開催して以来、TICADプロセスを一貫して対アフリカ外交の基軸とし、積極的に取り組んでいる。特に、アジアの開発経験をアフリカでも活用すべく、アジア・アフリカ協力を重視してきた。 2 TICADプロセスを通じた我が国の外交イニシアティブ及びその具体的取組は、アフリカ諸国をはじめ国際社会に高く評価されている。世界の国数の約1/4を占めるアフリカ諸国は、国際社会において大きな政治的影響力を有しており、国際場裡における我が国の立場を強化するためにも、今後同プロセスが、我が国とアフリカ諸国との関係強化・推進に果たす影響力は大きい。 3 本基金の拠出先であるUNDPは、国連システムの中の主要な開発機関であり、国際場裡での発言力及びプレゼンスが大きい。また、UNDPはアフリカの全ての国(53か国)に事務所を設けている(アフリカ地域における我が国の大使館数:32)。したがって、同機関を通じて事業を実施することにより、同機関の知見やその強大なネットワークの活用による有効な案件実施やより効果的な広報が可能となり、TICADプロセスがマルチの取組として認識されることに役立っている(中国や韓国、インド等はバイでアフリカ支援会議を実施しているが、こうした方法は国際的に必ずしも歓迎されていない部分がある)。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	113	平成23年行政事業レビュー	142

個別事業名：

※平成22年度実績を記入

(\$1 = 94 円)

平成22年度拠出金
981, 820 ドル
92, 29 百万円

TICADⅣ フォローアップ事業
573,315 ドル
53,89 百万円

アフリカ局TICAD部 支援プログラム
93,468 ドル
8,79 百万円

実施主体

国際連合開発計画 (UNDP)

事業実施管理

実施主体

国際連合開発計画 (UNDP)

事業実施管理

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

個別事業名：

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	P5, P4, G6: 各1名	53			
	その他	UNDP関係者の東京出張等	1			
	計		54	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	会議関連経費	TICADフォローアップ会合関連経費	5			
	広報費	ドキュメンタリー制作費等	2			
	旅費	TICAD関連会合参加に係る旅費	1			
	その他	タンザニアUNDP代表訪日経費	1			
	計		9	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	人件費	P5、P4、G6:各1名	52.48	-	-
2	その他	UNDP関係者の東京出張等	1.41	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	会議関連経費	TICADフォローアップ会合関連経費	4.86	-	-
2	広報費	ドキュメンタリー制作費等	2.45	-	-
3	旅費	TICAD関連会合参加に係る旅費	0.82	-	-
4	その他	タンザニアUNDP代表訪日経費	0.66	-	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					